

対象期間 2013.10-2014.9



**Don't Dump it!!
Recycle it!!!**



発行日 平成27年7月1日

こづか株式会社

環境管理責任者 小林 芳明

TEL 045-929-1931

有限会社大興資源

環境管理責任者 小塚 静

TEL 045-929-4811

環境管理担当者 境田 樹里

TEL 045-929-4811

目 次

1.こづかグループご紹介	1
2.取組み対象活動	2
3-1.事業概要 こづか株式会社	3
3-2.事業概要 有限会社大興資源	4
4.こづかグループ 廃棄物・資源物フロー	6
5.環境理念・環境方針	7
6-1.環境組織図 こづか株式会社	8
6-2.環境組織図 有限会社 大興資源	9
7.こづかグループ環境目標および環境活動計画	10
8.部門別環境目標	11
9-1.環境目標の実績 こづか株式会社	12
9-2.環境への負荷の把握 有限会社大興資源	13
10.活動計画・取組およびその評価	14
11.環境目標に対する取組の評価	15
12.教育・訓練の計画および実施	16
13.環境コミュニケーション	18
14.環境関連法規のとりまとめと遵守評価	19
15-1.代表者による全体の評価と見直し こづか株式会社	20
15-2.代表者による全体の評価と見直し 有限会社大興資源	21
資料 環境への負荷とりまとめ表	

～こづかグループ(こづか株式会社・有限会社大興資源)のご紹介～

経営理念

市民と企業のエコ活動に協力して、持続可能な循環型社会を目指す。

社内全体で相互に理解し合い、全従業員の幸福を追求する。

こづかグループ サービスのご案内「資源を活かす」

- 製紙原料の買入・販売
- 資源集団回収の推進
- 一般廃棄物収集
- 産業廃棄物収集
- 産業廃棄物中間処理
- 古紙ステーションの設置
- 古布のリサイクル
- 機密文書のリサイクル
- プラスチックリサイクル
- 出張リサイクル講師



廃プラスチック類(発泡スチロール含)処分承ります。

お見積り無料!! お気軽にお問い合わせください。

こづか株式会社ホームページ

<http://www.koduka.co.jp>

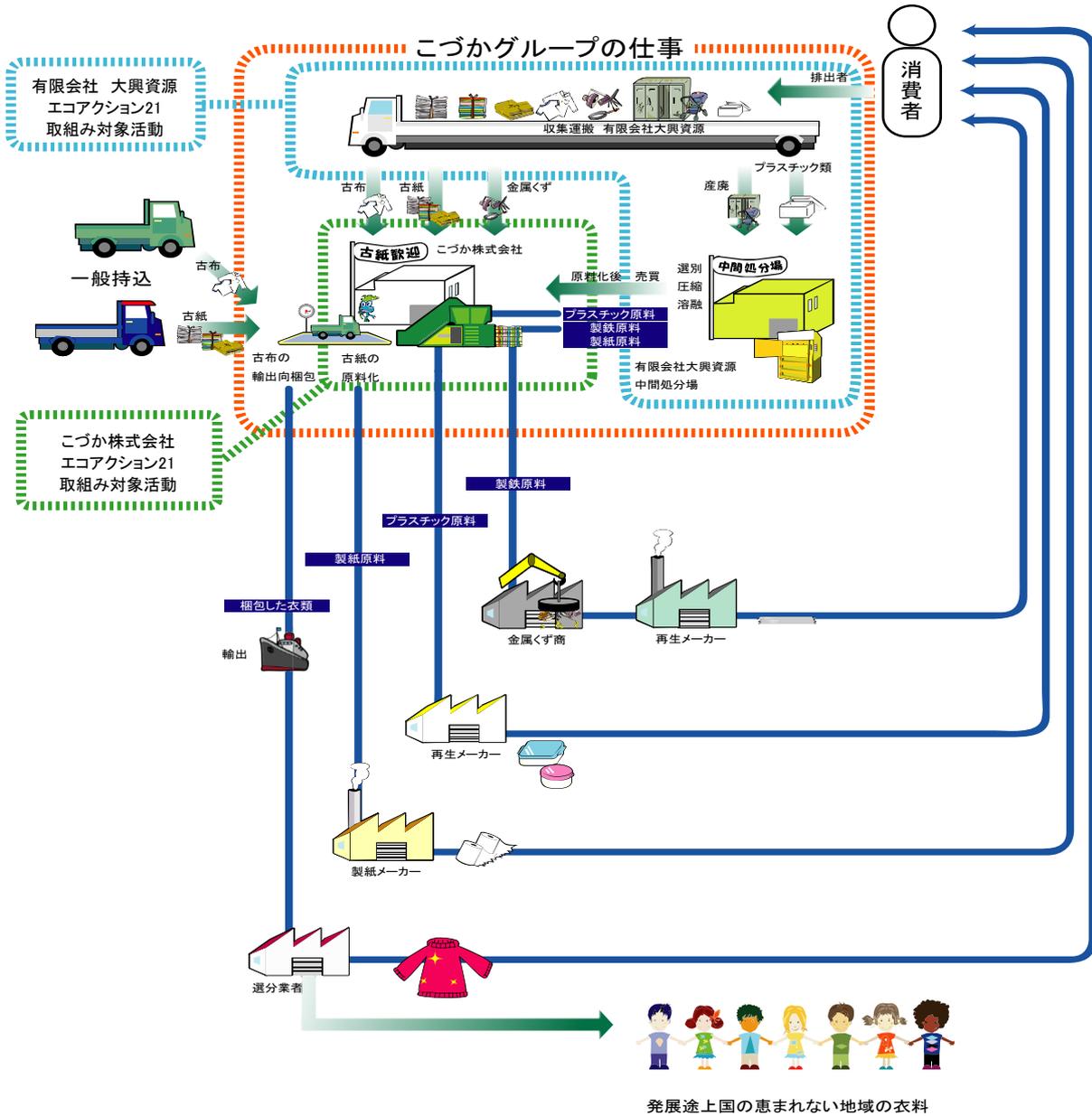
有限会社大興資源ホームページ

<http://www.taiko-shigen.co.jp>

エコアクション21 取り組みの対象活動

◆ こづかグループ(こづか株式会社・有限会社大興資源)コンセプト図

※認証対象範囲:こづか株式会社・有限会社大興資源ともに全組織・全活動



事業概要

会社名	こづか 株式会社	法人設立	平成4年4月
代表者名	代表取締役 小塚 敏文	資本金	1,000万円
事業内容	古紙・パルプ・古布及び紙製品の売買 計量証明事業 ※古紙の買取料金については電話又はメールでお問合わせください		
売上高	147 千万円(2013年度)		
従業員数	30 人	※平成27年6月1日確認 従業員名簿より	
事業年度	10月1日～9月30日		
会社所在地	本社	横浜市都筑区川和町247番地 TEL 045-929-1931	2725m ²
	横浜北事業所	横浜市都筑区東方町895番地	1399m ²
	横浜南事業所	横浜市磯子区新磯子町10番地1 TEL 045-750-5191	1974m ²
	富士営業所	静岡県富士市富士岡483-5 TEL 0545-34-0440	1164m ²
	清水事業所	静岡市清水区谷津町1丁目333-1 TEL 0543-69-5988	1000m ²
保有車両	フォークリフト	17 台	合計
	計量機 台貫	5 台	
	ベラー	6 台	
			28 台

設備の処理能力

機械 名称	設置場所	能力	備考
東京自動機械 ベーラー1号機	横浜北	120t/8h	
東京自動機械 ベーラー2号機	横浜北	96t/8h	
渡辺鉄工 ベーラー1号機	本社	120t/8h	
渡辺鉄工 ベーラー1号機	横浜南	160t/8h	
渡辺鉄工 ベーラー1号機	清水	120t/8h	
ホーライ 改 ベーラー1号機	富士	32t/8h	

取得認証一覧

名称	認証機関	認証・登録番号	取得/登録年月日	更新年月日	有効年月日
エコアクション21	一般財団法人 持続性推進機構	0002287	2008.3.14	2014.3.14	2016.3.13

事業概要

会社名	有限会社 大興資源	法人設立	昭和58年6月			
代表者名	代表取締役 猪又富美男	資本金	1,000万円			
事業内容	再生資源回収・一般廃棄物収集運搬・産業廃棄物収集運搬・産業廃棄物中間処分					
売上高	103 千万円	2013年度				
従業員数	121 人	※平成27年6月1日確認 従業員名簿より				
事業年度	10月1日～9月30日					
会社所在地	本社	横浜市都筑区川和町255番地4 TEL 045-929-4811	2725 m ²			
	横浜南営業所	横浜市磯子区新磯子町10番地1 TEL 045-750-5192	1974 m ²			
	横浜北営業所	横浜市都筑区東方町895番地	1398 m ²			
	富士営業所	静岡県富士市富士岡483-5 TEL 0545-34-0440	1200 m ²			
	静岡営業所	静岡市清水区谷津町1丁目328-4 TEL 0543-69-5996	1000 m ²			
	川崎営業所	川崎市高津区末長950-1 橋ハイツ101 TEL 044-750-7161	40 m ²			
	厚木営業所	神奈川県厚木市戸室1丁目24番20-312 TEL 046-294-5121				
	渋谷支店	東京都渋谷区円山町6-7 03-5428-8609				
保有車両	2トンパッカー	36 台	9トン平ボディ	0 台	軽トラック	5 台
	3トンパッカー	11 台	2トン平ボディ	34 台	乗用車	18 台
	3.5トンパッカー	2 台	3トン平ボディ	11 台	その他	1 台
	4トンパッカー	4 台	3.5トン平ボディ	2 台		
	4トンアームロール	6 台	4トン平ボディ	1 台	合計	132 台
	4.5トンパッカー	1 台	(うちCNG車16台 16%)			
			※平成27年6月1日確認 車両リストより			
処分場の処理能力	4.24t/1時間					

取得事業許可一覧

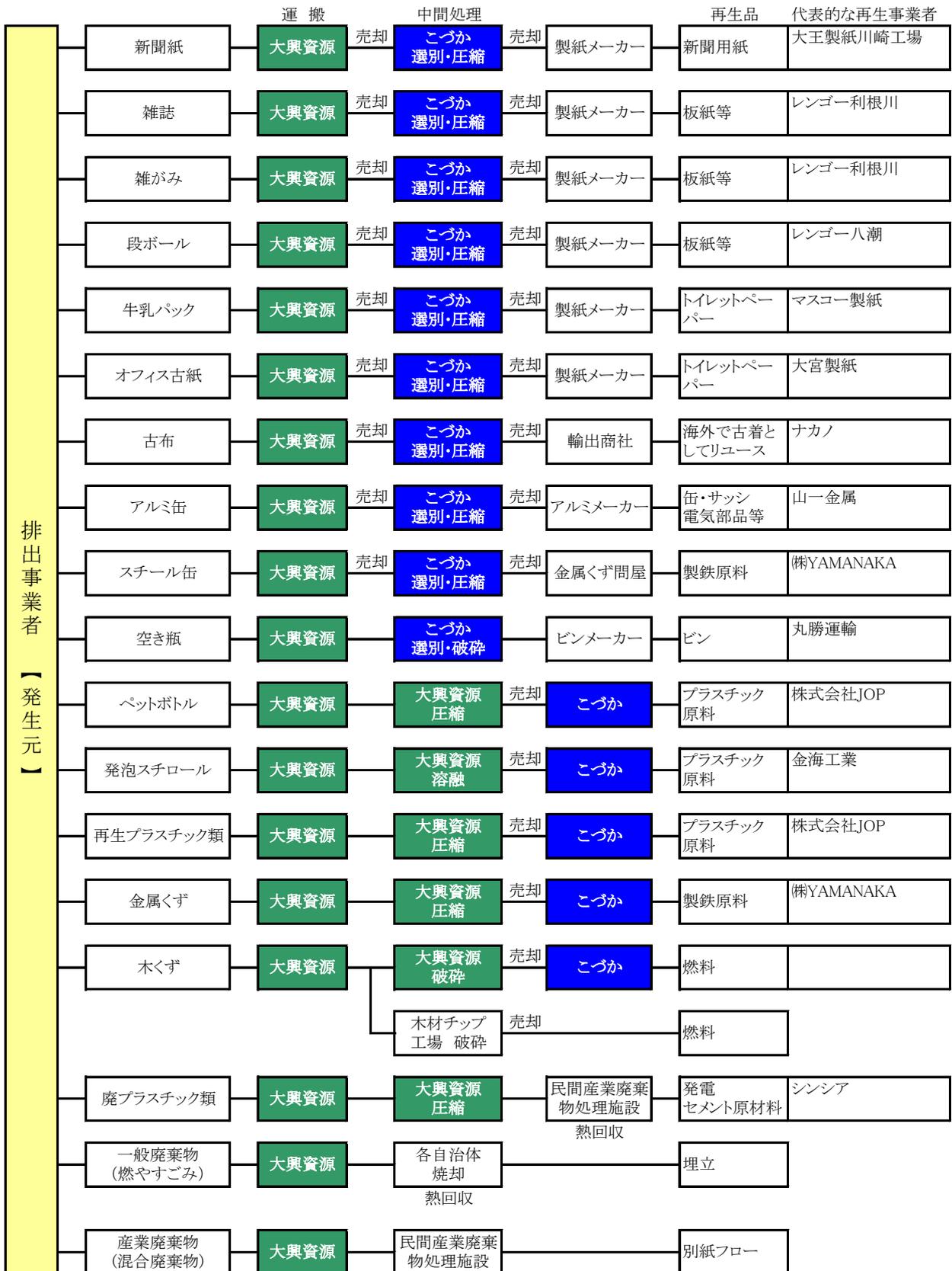
一般廃棄物収集運搬				
地域	許可No	許可年月日	許可期限	備 考
横浜市	1105	H9.4.1	H28.3.31	
川崎市	0066	H12.10.1	H28.9.30	
東京都 23区内1部	1355	H15.6.1	H29.5.31	渋谷区・目黒区・世田谷区・品川区
厚木市	163	H18.4.1	H28.3.31	
富士市	I-24	H14.11.1	H28.3.31	

産業廃棄物収集運搬				
地域	許可No	許可年月日	許可期限	品 目
東京都	013-00-001023	H8.4.26	H28.4.25	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
神奈川県	014-02-001023	H4.3.23	H29.3.22	廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
静岡県	022-01-001023	H4.12.17	H29.12.16	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
埼玉県	1100001023	H24.7.13	H29.7.12	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず・がれき類
山梨県	1900001023	H23.9.5	H28.9.4	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず・がれき類
千葉県	1200001023	H23.10.28	H28.10.27	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類

産業廃棄物中間処分				
地域	許可No	許可年月日	許可期限	品 目
横浜市	056-20-001023	H18.6.1	H28.5.31	廃プラスチック類・紙くず・金属くず
静岡県	022-0010-1023	H19.6.21	H29.12.16	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・木くず

取得認証一覧					
名 称	認証機関	認証・登録番号	取得/登録年月日	更新年月日	有効年月日
エコアクション21	一般財団法人 持続性推進機構 (IPSuS)	0001907	2007.10.2	2013.10.2	2015.10.1
プライバシーマーク	一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)	10870038(03)	2009.3.12	2015.3.12	2017.3.11

こづかグループ 廃棄物・資源物処理フロー



制定日 2006年12月1日

改定日 2011年11月1日

こづか株式会社 代表取締役

小塚 敏文

有限会社大興資源 代表取締役

猪又 富美男

環境理念

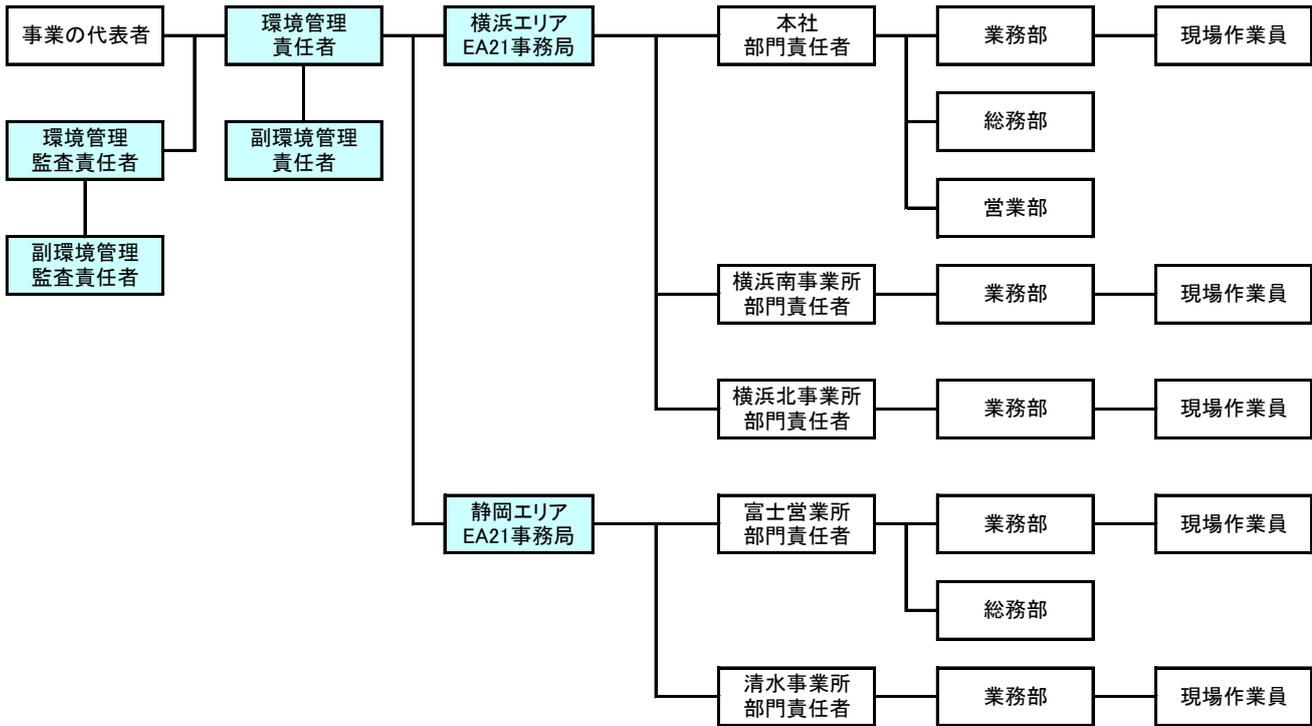


持続可能な循環型社会構築のため、リサイクルを推進する。
市民や企業のエネルギー節約に協力し、率先して省エネ行動をする。
全ての従業員が幸福な未来を実現するため、エコライフを実践する。

【こづかグループ 環境方針】

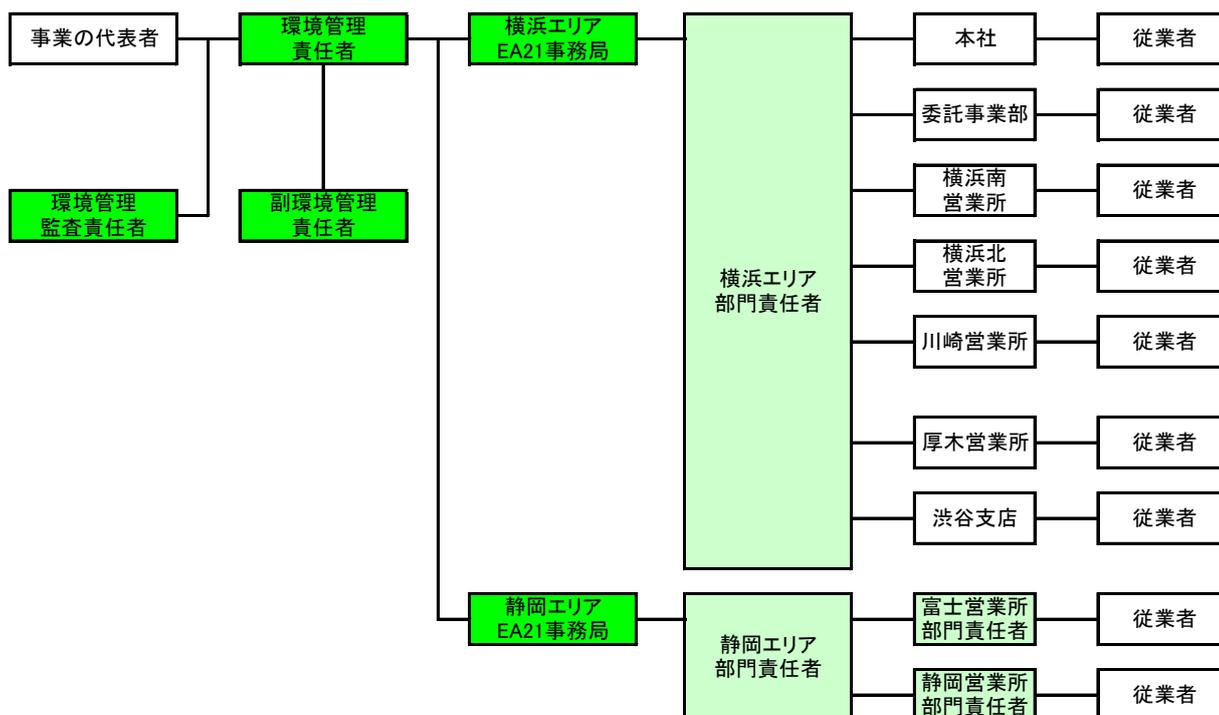
1. 廃棄物を再生利用する可能性を検討し、新たな知識をすべての人が共有するよう努めます。
2. すべての事業所・営業所において、CO₂削減、節水、省資源に努めます。
3. 天然ガス車導入・雨水利用などで、環境への負荷低減を目指します。
4. 環境商品を積極的に利用し、グリーン購入推進に努めます。
5. 事業に関する法律的要求事項をすべて把握し、遵守します。
6. 持続可能な循環型社会構築を目的として啓発と教育活動を行います。
7. 本方針を公開し、朝礼、会議、社内ホームページで周知し、全従業員が、
環境に配慮した行動が出来るよう努めます。

こづか(株) 環境組織図



各責任者の役割	環境対策に関する責任と権限	環境活動に関わる主な業務内容
事業の代表者	全社の環境経営システムの総責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■環境方針を承認する ■環境管理責任者の任命 ■全体の取り組み状況の評価と見直し ■資源の用意
環境管理責任者	経営者に代わり、システム運用の総責任者としての役割・権限を他の責任に関わらず持つ。 システム実績を事業の代表者に報告	<ul style="list-style-type: none"> ■システム運用の維持管理 ■マネジメントレビュー、エコアクション事務局会議等招集 ■是正処置・予防処置の推進維持
エコアクション21事務局	環境管理責任者の補佐 環境コミュニケーション窓口	<ul style="list-style-type: none"> ■教育・訓練計画の立案 実施 ■環境活動計画通りの運用の実施と確認 ■取り扱い数量の把握と半期ごとの集計 ※(出庫数量、代納含まず) ■環境への取組みの自己チェック ■環境への負荷の自己チェック ■システム実績を環境管理責任者へ報告→事業の代表者へ
部門責任者	部門システム運用責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■環境方針、環境目標、部門目標の周知(掲示)

大興資源 環境組織図



各責任者の役	環境対策に関する責任と権限	環境活動に関わる主な業務内容
事業の代表者	全社の環境経営システムの総責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■環境方針を承認する ■環境管理責任者の任命 ■資源の用意 ■全体の取り組み状況の評価と見直し
環境管理責任者	経営者の代わり、システム運用の総責任者としての役割・権限を他の責任に関わらず持つ。システム実績を事業の代表者に報告	<ul style="list-style-type: none"> ■システム運用の維持管理 ■マネジメントレビュー、エコアクション事務局会議等招集 ■是正処置・予防処置の推進維持
エコアクション21事務局	環境管理責任者の補佐 環境コミュニケーションの窓口	<ul style="list-style-type: none"> ■教育・訓練計画の立案 実施 ■環境活動計画通りの運用の実施と確認 ■取り扱い数量の把握と半期ごとの集計 ※(ドライバー1人あたりの数量又、燃料1Lあたりの走行) ■環境への取組みの自己チェック ■環境への負荷の自己チェック ■システム実績を環境管理責任者へ報告→事業の代表者へ
部門責任者	部門システム運用責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■実施状況の確認と記録の収集

こづかグループ 環境目標および環境活動計画

中長期目標(達成目標年度 2015年度)

- 取扱量 毎月100トン増量し、2011年度比で2015年度までに4,800トン増量
- CO₂、水、電力 1トンあたり-5%(2011年度比)
- ゼロエミッションへの挑戦-3%
- グリーン購入

2014年度(2014.10-2015.09) 環境目標および活動計画

GR=グループ全体、 KO=こづか株式会社、TA=有限会社大興資源 ←実施予定期間

● 資源物及び廃棄物取扱量 毎月100トン増量し、年間1,200トン増量

活動計画および取組内容	責任者	実施者	2014			2015											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
営業会議・ドライバー会議の実施(GR)	総務部	営業社員															
ブランド力強化(イベント等への参加)(KO)	総務部	総務部															
環境省Fun To Share活動への参加(TA)	総務部	総務部															
施設見学会・出前講師(GR)	総務部	総務部															

● CO₂、水、電力 1トンあたり -3%

活動計画および取組内容	責任者	実施者	2014			2015											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
◆ CO ₂ 、電気使用量 削減																	
エコドライブ・車両管理(TA)	業務部	ドライバー・営業															
エアコン温度設定(GR)	部門責任者	全従業者															
低燃費車への変更の検討(TA)	役員	役員															
スイッチ・エレベーターの適正管理(GR)	総務部	全従業者															
◆ 水使用量の削減																	
余分な開放がないかのチェック(GR)	EA21事務局	全従業者															
雨水の有効利用の検討(GR)	役員	役員															

● 自社廃棄物 -3%

活動計画および取組内容	責任者	実施者	2014			2015											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
スキャナー・両面印刷の励行(GR)	部門責任者	全従業者															
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減(GR)	部門責任者	全従業者															
プロジェクターやモニターの活用	部門責任者	全従業者															

● グリーン購入について

活動計画活動計画および取組内容	責任者	実施者	2014			2015											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
印刷に出すチラシは再生紙を指定する(GR)	総務部	総務部															
コピー用紙、トイレトペーパー、ティッシュは必ず再生品を利用する(GR)	総務部	全従業者															

部門別環境目標

◆ こづか株式会社

- 本社
- 横浜南事業所
- 横浜北事業所
- 富士営業所
- 清水事業所

部門は左記のとおりとし、
月次内部監査 ALL「A」を目指す

監査項目は全部で14項目

(生物多様性の観点により、本社では隣接する河川の清掃も監査項目に入れる)

内部監査 部門名 本社 川和			監査人			
	内容	指示	前回評価 A/B/C/D	今回評価 A/B/C/D	点数	是正処置
1	あいさつ	お客様、地域の方、社内間でのあいさつ	常時			
2	ピット清掃	地下ピット内	毎朝10分			
3	台貫清掃	台貫の内部	1週間に一度			
4	機械清掃	シリンダー部分 周り	毎日			
5	場内清掃	置き場	常時			
6	場外清掃	道路・土手面	常時清掃			
7	重機清掃	エンジン部分 フィルター	毎日清掃			
8	消火器の点検	配置場所 消費期限	訓練実施時 (半年に一度)			
9	アイドリング ストップの徹底	こまめな エンジンの停止 ペーラーの停止	常時			
10	事故・物損	ぶつけた場所 鉄ノカゴなど	常時			
11	在庫報告の徹底	バラの分も 本数に換算して報告	毎日			
12	在庫の仕方	積み方、奥から高く、 くずれないように 積んでいるか	毎日			
13	エアコンの 設定温度	設定温度は適切か (冬20℃・夏27℃)	毎日			
14	環境方針(目標)は 最新版を掲示 把握してるか		常時			

◆ 有限会社 大興資源

- 横浜エリア 1人1日あたり3500kg
- 静岡エリア 1人1日あたり3000kg
- 委託部門 燃費の向上

2013年度 環境目標の実績(こづか株式会社)

1.指標となる取扱量を評価

◆ 取扱量					
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2013年度	目標値	基準年度比	評価
取扱量	50,791トン	48,531トン	51,991トン(+1200)	-2260トン	×

2.取扱量1トンあたりの排出量や投入量で環境活動、負荷を把握する (◆下記の数量は取扱量1トンあたりの数字)

◆エネルギー投入量					
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2013年度	目標値(-3%)	基準年度比	評価
購入電力	121.0MJ	116.0MJ	117.37MJ	96%	○
化石燃料	47.6MJ	45.7MJ	46.2MJ	96%	○

◆温室効果ガス排出量 ※電力二酸化炭素換算係数0.482kg-CO ₂ /kWh					
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2013年度	目標値(-3%)	基準年度比	評価
二酸化炭素	7.9kg-CO ₂	8.8kg-CO ₂	7.7kg-CO ₂	111%	×

◆水資源投入量					
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2013年度	目標値	基準年度比	評価
上水	0.06m ³	0.05m ³	0.0582m ³	83%	○

廃棄物の排出量					
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2013年度	目標値	基準年度比	評価
熱回収	106トン	70トン	103トン		◎

参考:事業規模の推移

活動規模	単位	2013年	2012年	2011年
処理量	t	48531	49009	50791
売上高	百万円	1466	1229	1146
従業員	人	30	30	32
床面積	m ²	12491	9748	9748

環境への負荷の把握(有限会社大興資源)

1.指標となる取扱量を評価

◆ 取扱量

評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2013年度	目標値	基準年度比	評価
取扱量	53,849トン	49,990トン	55049トン(+1200)	-3859トン	×

2.取扱量1トンあたりの排出量や投入量で環境活動、負荷を把握する

(◆下記の数量は取扱量1トンあたりの数字)

※2011年度より電気・水道について、こづかと大興資源で共同使用している社屋では大興資源がこづかに電気代・水道代を含めて賃料として支払うこととし、負荷はこづかで負担する。

◆エネルギー投入量

評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2013年度	目標値(-3%)	基準年度比	評価
化石燃料	446.8MJ	433.8MJ	433.4MJ	97%	○

◆温室効果ガス排出量 ※電力二酸化炭素換算係数0.482kg-CO₂/kWh

評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2013年度	目標値(-3%)	基準年度比	評価
二酸化炭素	29.2g-CO ₂	34.5kg-CO ₂	28.3kg-CO ₂	118%	×

廃棄物の排出量

評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2013年度	目標値	基準年度比	評価
熱回収	106トン	70トン	103トン		◎

参考:事業規模の推移

活動規模	単位	2013	2012	2011
処理量	t	49,990	54,246	53,849
売上高	百万円	1,028	947	976
従業員	人	185	180	206
床面積	m ²	12,491	9,748	9,748

2013年度 活動計画・取組およびその評価

● 資源物、廃棄物 取扱量 毎月100トン増量

活動計画	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の計画
定例 営業会議の実施(GR)	営業本部長	営業社員	営業会議の役員参加	○	継続
営業ツールを充実させるための検討 (GR)	総務部	営業社員	営業企画会議の実施	○	
セールスドライバーの育成 (TA)	営業部	営業社員	マニュアル化、ルール作り	△	
セミナーへの参加(GR)	総務部	営業社員	情報の収集、担当者が参加	△	
SEO対策(GR)	総務部	総務部	ホームページ管理会社との定期打ち合わせ	○	
ブランド力強化(まつり、イベントへの参加)(GR)	総務部	総務部	地域のイベントに参加(磯子まつり・都筑区民まつり)	○	
施設見学会 (GR)	総務部	総務部	地域・社会にひらかれた企業、信頼確保	△	
移動リサイクル教室「出前講師」(GR)	総務部	総務部	移動リサイクル教室、分別体験	×	
環境省Fun To Share活動への参加	総務部	総務部	エコドライブ宣言	×	

● CO₂、水、電力 1トンあたり -3%

活動計画	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の計画
◆ CO ₂ 、電気使用量 削減					
エコドライブの実践(TA)	営業部、業務部	営業、ドライバー	ドライバーマニュアル、考課表による技能評価、社内講習会	○	継続
エアコン温度設定(GR)	部門責任者	全従業者	社内掲示、温度設定は冷房時28℃、暖房時20℃に設定	○	
作業効率化(GR)	業務部	全従業者	業務会議による配車見直し	○	
LED電球導入の検討(GR)	総務部	総務部	費用の算定、比較	△	
低燃費車への変更の検討(TA)	役員	役員	燃費の試算	○	
スイッチの適正管理	部門責任者	全従業者	スイッチの配置図作成、掲示、消灯点検	△	
エレベーターの使用制限	部門責任者	全従業者	階段推奨ポスター掲示、使用頻度の節減	△	
業務日報による車両管理推進	営業部、業務部	営業、ドライバー	オイル交換、フィルター清掃、タイヤの空気圧	○	
走行時以外のエアコン使用禁止	営業部、業務部	営業、ドライバー	エアコン調節	△	
社内エアコンフィルターの定期清掃	総務部	総務部	実施月の設定	△	
◆ 水使用量の削減					
余分な開放がないかのチェック(GR)	EA21事務局	全従業者	環境への負荷の自己チェック毎月実施	○	継続
雨水の有効利用の検討(GR)	役員	役員	トイレ洗浄水の雨水利用、洗車・清掃への利用の検討	△	

● 自社廃棄物 -3%

活動計画	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の計画
裏紙のメモ使用(GR)	部門責任者	全従業者	朝礼などで呼びかけ・教育内容に盛り込む	○	継続
スキャナー・両面印刷の励行(GR)	部門責任者	全従業者	スキャナー・プリンタの機能を有効利用	○	
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減(GR)	部門責任者	全従業者	朝礼などで呼びかけ・教育内容に盛り込む	○	
コピー用紙使用量把握指標の作成	総務部	総務部	指標作成、管理、通知	△	
プロジェクターやモニターの活用	部門責任者	全従業者	会議等での使用。資料削減	△	
軍手の再利用(GR)	業務部	業務部	洗濯・再利用	△	

● グリーン購入

活動計画	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の計画
CNG天然ガス車への変更(TA)	役員	役員	費用の算定、比較	○	継続
印刷に出すチラシは再生紙を指定する(GR)	総務部	総務部	購買稟議システムの運用	○	
GPN推奨 エコ商品ねっとより購入	総務部	総務部	具体的な購入品目数の目標設定	△	

前年度 環境目標に対する取組の評価

1.資源物、廃棄物、取扱量 100トン/月

前半期

後半期

活動内容	実施確認者	2013			2014								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
定例 営業会議の実施(GR)	総務部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
営業ツールを充実させるための検討(GR)	総務部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セールスドライバーの育成(TA)	総務部	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
セミナーへの参加(GR)	総務部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SEO対策(GR)	総務部	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブランド力強化 まつり、イベントへの参加(GR)	総務部	○	○									○	○

2.CO₂、水、電気 1トンあたり -3%

活動内容	実施確認者	2013			2014								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エコドライブの実践(TA)	業務部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エアコン温度設定(GR)	部門責任者	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	△	△
作業効率化(GR)	部門責任者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
LED電球導入の検討(GR)	EA事務局						△						△
低燃費車への変更の検討(GR)	役員						△						△
余分な開放がないかのチェック(GR)	EA事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雨水の有効利用の検討(GR)	EA事務局						△						△

3.自社廃棄物 -3%

活動内容	実施確認者	2013			2014								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
裏紙のメモ使用(GR)	部門責任者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スキャナー、両面印刷の励行(GR)	部門責任者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減(GR)	EA事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軍手の再利用(GR)	業務部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

4.グリーン購入について

活動内容	実施確認者	2013			2014								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
CNG天然ガス車への変更の検討(TA)					○	○	○						
印刷に出すチラシは再生紙を指定する(GR)	総務部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境に配慮した製品を優先して使用する(GR)	総務部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◆2013年度評価

- ・今年度より活動計画を見直し、取扱量の増加、エコドライブに重点を置いた。
現在検討中のものが多く評価としては低くなった。
- ・エコドライブについての認識はかなり従業員の中で浸透してきたものの
知識だけではなく、実際の運用に関しては新たに改善の余地がある。
教育の結果も踏まえ、さらに分かりやすい具体的な周知が必要であると再確認した。
同時に車の使用方法・規則が策定されていなければ今後の削減は厳しい。
ただし配車を見直し作業効率化を推進したことで、エコドライブに伴い交通事故予防にも寄与した。
今後社内での意識向上とともに対外的にもエコドライブの活動への参加を率先して行っていく。
- ・グリーン購入に関しては具体的な品目数を設定することで、より意識的に
全従業員で取り組むきっかけになると思われる。
- ・計画としては含まれていないが、社会貢献として全従業員が地域に対して社会的役割と
責任をより理解し、環境保全に関する意識を向上させることが様々な効果を生み出すと
思われる。
よって次年度より、計画に含まれるよう検討が必要。

教育・訓練の計画・実施

◆ こづか株式会社

1.教育内容

各部門では毎朝の朝礼を実施、K.Y.T(危険予知トレーニング)を実施。

フォークオペレーターはフォーク作業10カ条を読み上げる。

機械、重機の無駄なアイドリング運転の確認なども含め、エコアクション21の活動内容を確認する。

また、毎年3月・9月には部門別に消防訓練を実施し、実際の火災を想定し、緊急事態対応規定の実用性を確認する。

毎月の定例会議では、環境管理責任者より、エコアクション21の活動内容について、環境目標の確認、必要な活動計画などを教育している。監査報告書を回覧している。

記録は現場作業員議事録

2.教育・訓練計画

内容	対象	2013			2014									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
環境に関する教育	横浜エリア 現場作業員													
環境に関する教育	横浜エリア・ 静岡エリア													
緊急事態への 対応訓練	横浜エリア・ 静岡エリア													

半期に1度工場に措ける防災訓練やリスクアセスメントを実施している。

防災訓練の内容

①消化器具の使用方法的確認

- ・消火器や消火栓の使用方法和注意点や消費期限の確認
- ・消防設備会社協力の元 実際に放水を体験する(毎回では無い)

②工場内での火災を想定した訓練

- ・防災訓練マニュアルに基づき優先順位の把握や対応の訓練する
- ・緊急事態時の連絡網の確認。

リスクアセスメントの内容

- ・危険箇所の報告
- ・新たな機械の導入による適切な使い方の指導
- ・工場内で起った事故・怪我の周知改善



実施日 25年9月9日(火)

1.教育内容

年一度、全従業員を対象とし環境に関する教育を行い、教育受講アンケートを回収し次回の教育内容への参考とする。

EA21認証・登録制度の目的

登録のメリット・デメリット

環境マネジメントシステムについて

部門目標の確認、目標達成のための具体的取組・検討事項

随時、ドライバーを対象として交通安全講習会を実施する。

緊急時の訓練として年1回訓練を行う。

2.教育・訓練計画

内容	対象	2013			2014									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
環境に関する教育	横浜エリア													
環境に関する教育	静岡エリア													
緊急事態への 対応訓練	横浜エリア・ 静岡エリア													

交通安全講習会の様子

「環境保全」「安全運転」「省燃費」を目指してエコドライブの推進のために自分の運転への気づきを目的として講師を招き、講習を行う。

・警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省からなる「エコドライブ普及連絡会」が示すエコドライブ10のすすめ

・安全方針の浸透、ドライバーマニュアルの確認

・事故とドライバー、企業の責任

・事故対応ポイント

・防衛運転について(常に危険があると意識しながら運転することで、他社の危険行動による事故の発生防止できる運転方法)



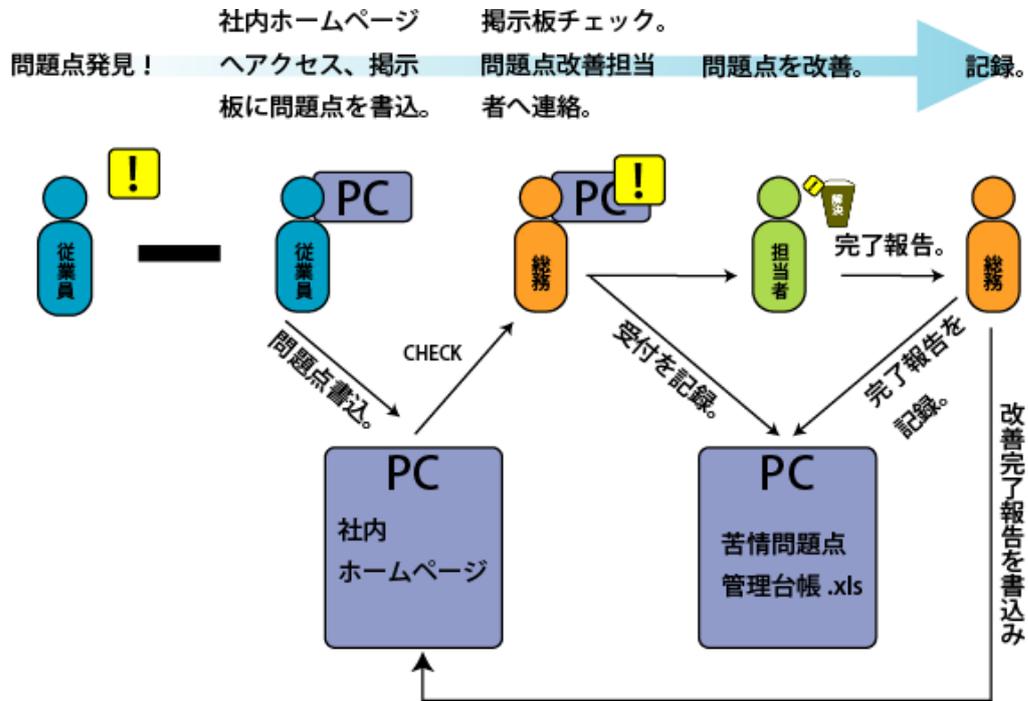
実施日 25年9月16日(火)

環境コミュニケーション

1.内部コミュニケーションの手段

- ① 社内ホームページの開設・活用
- ② 朝礼の実施

社内ホームページ活用イメージ



2.外部コミュニケーションの手段

- ① ホームページの開設・活用→環境方針、活動レポートの公開・苦情受付窓口
ホームページ上から、環境に関する苦情、問い合わせを受ける。
- ② 各種イベントの参加
毎年9月→磯子まつり
毎年11月→都筑区民まつり

磯子まつり(平成26年9月30日)



都筑区民まつり(平成26年11月3日)



- ③ 環境活動レポートの作成、配布(各行政機関、取引先など)
- ④ 見学会の開催

環境関連法規のとりまとめと遵守評価

法規等の名称	規制概要	規制詳細	規制の適用	遵守評価					
				2012年3月	2012年9月	2013年3月	2013年9月	2014年3月	2014年9月
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理	排出事業者責任 契約書の締結 マニフェストの発行 施設の管理	廃棄物排出時 業務受注時 廃棄物排出時 中間処分場運営	○	○	○	○	○	○
各事業所所在地の 廃棄物に関わる条例 (横浜市廃棄物等の減量 化、資源化及び適正処理 等に関する条例 等)	廃棄物処理	排出事業者責任 適正な処理	廃棄物排出時	○	○	○	○	○	○
道路交通法	道路の危険防止 交通の安全	道路の交通方法 運転免許 運転者の義務	道路通行時	○	○	○	○	○	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の リサイクル		業務受注時 廃棄時	○	○	○	○	○	○
消防法	指定可燃物の保管	消防設備の設置状況	商品の保管時	○	○	○	○	○	○
許可取得の各行政条例	各焼却施設への搬入 廃棄物の引き取り	不適合物の搬入 不適合物の収集	焼却施設搬入時 廃棄物の収集時	○	○	○	○	○	○
自動車NOX・PM法	ディーゼル自動車への規制	都市部への乗り入れ	車両購入時 車検時	○	○	○	○	○	○
浄化槽法	清掃・保守点検 水質検査 定期検査	定期検査	富士営業所 WC 清水営業所 WC	○	○	○	○	○	○
グリーン購入法	再生品使用の促進		備品・消耗品購入 時	○	○	○	○	○	○
神奈川県生活環境の 保全等に関する条例	公害の防止 環境負荷の低減		事業全般	○	○	○	○	○	○
横浜市生活環境の 保全等に関する条例	公害の防止 環境負荷の低減		事業全般	○	○	○	○	○	○
省エネ法 ※1	エネルギーの使用の 合理化	(使用量定期報告・ 中長期計画作成)	廃棄物収集運搬 中間処理	○	○	○	○	○	○
静岡県産業廃棄物の 適正な処理に関する条 例	処理業者による 不適正な処理の防止	産業廃棄物の 処理状況の報告等	中間処理	○	○	○	○	○	○

※1 有限会社大興資源は対象事業者外

起こりえる違反事項	訴訟・違反の有無					
	2012年3月	2012年9月	2013年3月	2013年9月	2014年3月	2014年9月
○環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反の有無	無	無	無	無	無	無
○関係機関からの指摘	無	無	無	無	無	無
○訴訟の有無	無	無	無	無	無	無

環境に関する外部からの苦情・相談など	苦情・相談の有無					
	2012年3月	2012年9月	2013年3月	2013年9月	2014年3月	2014年9月
○環境に関する外部からの苦情・相談	無	無	無	無	無	無

代表者による全体の評価と見直し(こづか株式会社)

見直し実施日	2015年6月11日	見直し者 代表取締役 小塚 敏文
収集した資料	① 2013年度環境活動レポート	
評価内容	① 環境目標の実績 ② 活動計画・取組 ③ 教育・訓練の計画・実施	
総評	<p>エコアクション21の認証取得から7年を経過し、全従業員で省エネ環境活動に励んできた。またPDCAサイクルが定着しつつあり、特にフィードバックに重点を置いた。</p> <p>目標達成が終点ではなく、達成できたならば目標設定基準は適切であったのか、達成できなかったものについては原因究明を、改善がみられないものについては具体策を再考するよう取り組んできた。</p> <p>今回データの収集方法を見直した結果、取扱い量が大幅に減少してしまったが、様々な場面でペーパーレス化が進んだことも一つの要因と思われる。今後、発生量減少の中、当社はどのように取扱量を増やしていくかが課題である。</p> <p>電力・水使用量ともに対昨年比で同率、および減少という良い結果がみられ、目標達成された。結果に満足することなく、引き続き節電・節水の努力を続けること。</p> <p>自社廃棄物については、評価基準数値より34%減となり社員一人ひとりの努力がみえる結果となった。さらに分別を徹底して意識を高めていく。</p> <p>教育内容も充実してきて実務的な訓練などを多く取り込み、より従業員の理解が深まった。今後継続的に事務局が中心になって見直しを行い、計画し一層の改善を期待する。</p>	
変更の必要性の判断	環境方針	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不必要
	環境目標	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不必要
	その他計画	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不必要
環境管理責任者への指示事項 ■省エネルギーに関する情報の収集・提案 ■環境教育の充実 ■自社廃棄物減少の継続的努力 ■取扱量増量のための活動・目標値の見直し		

代表者による全体の評価と見直し(有限会社大興資源)

見直し実施日	2015年6月11日	見直し者 代表取締役 猪又富美男
収集した資料	① 2013年度環境活動レポート	
評価内容	① 環境目標 ② 環境への負荷の把握 ③ 活動計画・取組	
総評	2007年にエコアクション21を認証取得してから社員の環境への意識が年々向上しており、より積極的な取り組みへと変化してきている。 まず今年度より取扱量のデータ収集方法を変更したため、基準年度から大幅に減少してしまった。 次年度より取扱量の増量を重点的に目標に据え、活動計画を見直す必要性がある。 自社廃棄物においては継続してゼロエミッションを目標に分別・リサイクルを徹底している。 エネルギー投入量は評価基準数値を下回っているものの、昨年度と比較すると大幅に増加してしまった。今一度ルートの確認、効率的な業務の見直しをすること。 業績向上のためだけでなく、環境活動にもつながっていることを認識する。低燃費車の導入も進み、営業車は100%。今後順次回収車両も変更を検討していく。 しかし依然として初期投資の問題等からLED導入やグリーン購入も進んでいない。 エコアクション21事務局が中心となって定期的にミーティングをもち、計画の進行度、内部監査の指摘事項改善に向けて活動を再確認し、より充実した教育に反映することで連続性をもつようPDCAサイクルを機能させること。 具体的な計画を社員からも募り、一丸となって循環型社会への構築を目指す。	
変更の必要性の判断	環境方針	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不必要
	環境目標	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不必要
	その他計画	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不必要
環境管理責任者への指示事項 ■環境目標の見直し、改善の必要な項目の具体的対策 ■取扱量増量につながる活動の展開、業務の変化に伴う目標数値の見直し ■新たな計画の実施に伴う責任部署の確認・組織の見直し ■教育内容の充実、監査の徹底 ■省エネの情報の収集と運用の提案		



**Don't Do
Recycle**

